

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.18》2014年8月1日発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

最近では、大分県内でも36℃前後の猛暑日など、暑い日々が続いています。今は、お祭りの季節・・・7月最初の長浜祭りから始まり、白杵祇園祭りや日田祇園祭りなど、山車や花火大会など催し続きます。8月も府内戦紙(ぼっちん)から始まり、各地で夏祭りが盛況で、大分も活気にあふれた夏となっています。帰郷や来県されることがあれば、祭りを体感してはいかがでしょうか。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>

◎ 大分県の海外関連施策について



海外関連施策に携わる県職員が、皆さまがお住まいの国・地域に向けて実施している県の施策等をご紹介します。ぜひ、県のPRにご協力ください！



産業集積推進室

室長

森山 成夫

(Naruo MORIYAMA)

【連絡先 (Mail)】

a14230@pref.oita.lg.jp



産業集積推進室では、県内の半導体関連企業が行うアジアをはじめ海外での取引拡大や県内に立地する大手医療機器メーカーによる海外での販路開拓の取組を支援しています。

半導体関連企業の海外取引の拡大については、大分県LSIクラスター形成推進会議が母体となって、韓国、台湾の団体とビジネス交流の覚書を締結し、定期的に相互訪問や商談会を行ってきており、製品の共同開発や製造委託など企業間取引が実現しています。

医療機器メーカーの販路開拓では、日本の優れた医療技術やシステムのアジアへの定着、関連医療機器の普及を図ることで、県内医療機器メーカーの販路拡大につなげていくことを目的に、マレーシアやタイなどアジアから医療関係者を県内に招聘し、大分大学や医療機関の視察、実地研修等を行っています。

世界各地で活躍される皆様には、県内企業の海外展開に対し引き続きご支援をお願いいたします。



MOU締結式写真
(韓国亀尾市)



医療機器海外展開事業
(左:企業視察 右:病院視察)

ミャンマー大分県人会関係者が来庁

7月22日(火)、ミャンマー大分県人会から、発起人のお一人でミャンマーでの学校設立に尽力されている古庄 重生 様(パゴダの会 代表)、県人会事務局を担当されている河野 葉子 様が来庁されました。現地県人会やミャンマーの現状等をお伺いするなど、大変貴重な情報交換をさせていただきました。



河野様 古庄様

NEW 大分県からのお知らせ(7月)

●「平成26年度職員採用試験」

[2014年7月1日]

<http://www.pref.oita.jp/site/saiyouzyouhou/zvukennainai-mousikomi.html>

●「国東半島芸術祭について」

[2014年7月16日]

<http://kunisaki.asia/>

●「躍進！大分県のエネルギー産業」

[2014年7月22日]

<http://www.pref.oita.jp/site/energy-kigyokai/yakushin.html>

●「Festivals and Events (Jul. - Aug.)」

[2014年7月24日]

<http://www.pref.oita.jp/site/tourism/2014mar-apr.html>

県内の出来事（7月）

News 【7月 1日(水)】宇佐市インターネット放送局が開局

宇佐市では、市内の観光、イベント情報等を動画で発信するインターネット放送局を1日に開局しました。宇佐の魅力映像を通じて分かりやすく伝えることで、市のイメージアップや観光客誘致等を目指しています。以下アドレスからどうぞ！

【宇佐市インターネット放送局 USA CHANNEL】<http://www.usa-itv.com/>



News 【7月 4日(金)】国が認定「豊の国千年ロマン観光圏」

大分県北の8市町村(別府、中津、豊後高田、杵築、宇佐、国東、日出、姫島)でつくる「豊の国千年ロマン観光圏」が、観光庁による観光圏整備法に基づく滞在交流型観光圏に認定されました。観光ブランド力向上により、国内外からの更なる誘客につながることを期待されます。<http://www.millennium-roman.jp/>

豊の国千年ロマン観光圏



News 【7月11日(金)】佐伯市で人気の「恋人の聖地」

佐伯市蒲江の県マリンカルチャーセンター敷地内にあるパワースポット「恋人の聖地」がひそかな人気を呼んでいます。「恋人の聖地」とは、NPO法人「地域活性化支援センター」が認定した恋のスポットで、全国125カ所を認定。同センターでは新たに恋のお守り「Love ひおうぎ貝」を発売しています。<http://www.oita-mcc.jp/>



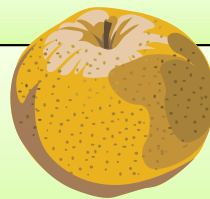
News 【7月12日(土)】LCCジェットスター「大分ー関空」10月就航

格安航空会社(LCC)のジェットスター・ジャパンは、10月9日から大分ー関西空港線に就航すると発表しました。大分空港発着は昨年3月に就航した成田線に次いで2路線目。ジェットスターはオーストラリアやシンガポール等に拠点があり、訪日旅行客利用にも積極的に取り組んでいます。<http://www.jetstar.com/jp/ja/home>



News 【7月16日(水)】「日田梨」の出荷が始まる

県内で最も梨の生産量が多い日田市で、今年も「日田梨」の出荷が始まりました。JAおおいた日田梨部会は、「今年は昼夜の寒暖差が大きかったことから、玉太り、糖度ともに上出来」と話しています。12月まで、首都圏を中心に台湾等にも出荷していく予定です。贈答品としても喜ばれる商品です。<http://www.hitashi.com/>



News 【7月24日(木)】夏の甲子園 大分代表校が決定！

第96回全国高校野球選手権大会大分大会の決勝戦が24日開催され、大分高等学校が明豊を6-5で下して初優勝を果たし、甲子園出場を決めました。初の全国大会出場となる大分高等学校、甲子園の舞台での熱戦を期待しています。ぜひ世界各地から熱いエールを送りましょう！ <http://www.oita-kouyaren.com/>





注目記事① 【7月2日】「大分県アジアビジネス研究会が発足」

大分県では、7月2日に「大分県アジアビジネス研究会」を設立しました。発足会には、県内企業等から約80名出席。会長に選ばれた大分製紙の田北社長が「アジア各国は日本の高品質の製品、サービスを求めている。情報共有を深め、ビジネスにつなげよう」と呼びかけ、広瀬知事が「共存共栄の立場でアジアの国々と手を結びながら、互いに発展・活性化できるようなこの研究会に期待します。」とあいさつされました。

【Facebook】https://www.facebook.com/oitaasiabusiness?ref_type=bookmark



注目記事② 【7月5日】「タイ大分県人会総会が開催！」

タイ大分県人会から、約10年ぶりに開催された総会の様子についてお便りをいただきました。



「7月5日(土)に、タイ王国バンコック都で「タイ大分県人会」を開催しました。タイ大分県人会は1996年に発足し定期的に懇親会等を開催してきましたが、当初の県人会会員の帰国等によりここ数年はなかなか活動を行えない状況にありました。今回は約10年ぶりの県人会開催となったものの、大分県庁国際政策課様からもご協力頂いた結果、当日は20名の参加者が集まりました。参加者は各々の大分エピソードを披露したりタイでの近況報告をしたりし親睦を深めました。今後は8月31日(日)に「タイ大分県人会ゴルフコンペ」を開催する他、食事会の開催も計画しています。タイ在住で大分出身や大分育ち等の「大分にゆかりのある人」のご参加をお待ちしています。」《連絡先:タイ大分県人会事務局 thailand.oita@gmail.com》

記事・写真提供:タイ大分県人会長 山村 隆一 様

注目記事③ 【7月14日】「湖北省武漢大学から県職員が帰任」

「現在県が進めている中国湖北省との交流事業の一環として約1年間武漢大学に留学し、この7月に帰国しました。出発前には、日本で報道される反日的な中国人のイメージが頭にあるため、若干不安な気持ちはありましたが、実際には不快なことはほとんどなく、逆に多くの中国人と交流を深めることができました。」

湖北省は、ホンダ、日産、プジョー・シトロエンなどの自動車メーカーが進出しており、今後もGM、ルノーが生産を開始するなど、自動車産業の一大集積地になりつつあり、日系下請けメーカーの進出も進んでいます。サービス業においても、今年12月にイオンモール武漢1号店がオープンする予定で、イオンは今後5年間で武漢に5店舗のモールをオープンさせる予定です。また、湖南省に進出している日系百貨店「平和堂」は尖閣諸島の国有化の際の反日デモで店舗が破壊される被害を受けましたが、実際にはその後、新たな店舗をオープンさせています。

実際に武漢に滞在し、企業訪問や現地の中国人との交流を通して、報道される中国のイメージと実際の中国には少なからずギャップがあり、状況は冷静に見極めていく必要があると感じました。」



【氏名】商業・サービス業振興課
【所属】藤原 由博

注目記事④ 【7月18日】「北京大分県人会懇親会が開催！」

北京大分県人会から、懇親会の様子についてお便りをいただきました。



「2014年7月19日、北京大分県人会の懇親会を開催しました。当県人会では、2か月に1回、懇親会を開催しており、北京在住の大分県にゆかりのある方で楽しく盛り上がっています。今回は大分県庁より、国際政策課の堀課長、山崎参事、大分県上海事務所の八坂様にもご参加いただき、18名での懇親会となりました。県のホットな情報は勿論、海外各地の県人会について情報を共有していただき、当県会においても、結束力がより一層高まりました。」

今後も「大分県」のつながりを大切にし、県人会を盛り上げてまいります。北京赴任に限らず、北京出張、旅行の際は是非ご一報ください。」

記事提供:北京大分県人会 事務局 萩 健介 様



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



林 泰男
(Taenam Lim)
県国際交流員
韓国(ソウル)
pu101502@pref.oita.jp

大分県教育委員会と韓国の忠清南道(チュンチョンナムド)教育庁は、1997年以来スポーツと文化における高校生交流事業を実施してきました。今年は忠清南道の牙山(アサン)高校男子ホッケー部が県立森高校・玖珠農業高校合同チームとの親善試合のため来県しました。



しかし試合日に会わせたかのように台風8号が九州へ接近することになり、交流の実施自体が危うくなるところでしたが何とか試合を行うことができました。激しい雨の中でしたが、両国選手の皆さんのがんばりで言い交流試合にすることができました。



楊 鋼
(Yang Gang)
県国際交流員
中国(湖北省)
pu101501@pref.oita.jp

7月8日、山東省威海第二実験小学校の学生さん39名が別府市立南立石小学校を訪問しました。校長先生と児童代表歓迎あいさつの通訳とコミュニケーションのお手伝いをいたしました。南立石小の学生はリコーダー演奏、歌、ソーラン踊りなどを発表し、中国の学生は「黄河濤声」という歌の独唱を披露しました。後の交流行事も大変素晴らしかったです。英語で簡単なコミュニケーションをする学生さんもありました。お別れの時、旗を振りながら元気いっぱい走ってバスを追っていく子どもたちの姿に強い印象を残しました。言葉が通じなかったですが、みんな一生懸命に交流を進めていったと思います。これからの世界は子供たちの世界で、交流を通して互いに心の中で仲良しの種を撒き、将来はきっと空高く聳える平和の木に成長できると信じております。



中国湖北省研修員による「ふるさと湖北省の紹介」



中国湖北省の交流の一環として来県中の研修生が、湖北省についてご紹介します。

「湖北省は長江中流域に位置します。湖北という名称は、洞庭湖の北に位置することに由来し、略称は『鄂』で、面積・人口ともに日本の約半分です。2013年の同省のGDPは24,668億元であり、中国全体の約4.3%を占めます。GDPにおける産業の割合は一次産業12.69%、二次産業49.3%、三次産業38.1%となっており、自動車産業、機械設備産業、鉄鋼業などの工業が湖北省の経済を牽引していると言えます。

湖北省の省都は武漢市であり、中国中部地区最大の工業都市で、かつ商業貿易の中心地でもあります。中国政府は、現在武漢とその周辺8市を一つの経済圏として発展させるとした政策を推進しています。『武漢城市圏』は湖北省経済全体の6割以上にも及び、消費地としての魅力もあります。また、2013年7月、習近平総書記が湖北省を視察した際に、『湖北省に中国中部地区の戦略的支点を構築しよう』と激励しました。

湖北省は、沿海部に既に進出している日系企業の新たな生産拠点と有望な内陸の市場として、今後めざましい発展が予想されます。」



【氏名】熊靖(ユウ・セイ)
【所属】湖北省咸寧市人民
政府外事弁公室



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～ 【姫島村／日出町】



(姫島村)
「アサギマダラ休息地」



(姫島村)
「鯛めし」



(日出町)
「糸ヶ浜海浜公園」



(日出町)
「魚見桜」

話題提供のお願い!!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!(様式は任意です)

【記事提供先/お問い合わせ先】
国際政策課 担当:猿渡(さるわたり)
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

